

5 令和 3（2021）年度行政評価市民フォーラムの開催結果について

(1) 令和 3（2021）年度行政評価市民フォーラムの概要

1 背景・実施目的

(1) 背景

本市では、平成 16（2004）年に策定した多摩市自治基本条例第 26 条（評価への参画）に基づき、平成 17（2005）年度から市民による評価として市民アンケート等を実施してきました。その後、平成 22、23（2010、2011）年度には、市長が選挙時に公約に掲げた「多摩市版事業仕分け」の実現のため、公開の会議形式で行う「行政評価市民委員会」を開催し、毎年 12 の事務事業を対象とした、いわゆる事業仕分けを実施してきました。

平成 24（2012）年度からは、より多くの市民の皆様に参加いただきながら、市民同士の議論のもと評価が行えるよう、参加者を無作為抽出で選ばれた市民の方に変更した形の「行政評価市民フォーラム」を開催しています。

令和 3（2021）年度は、「総合計画」において位置づけた「3つの重点課題」を解決するための「18の視点」のうち「地域防災・防犯活動を通じた結びつきの強化」の取組について評価を行った後、取組内容に絡めたグループワークの実施により、テーマへの理解を深めました。

(2) 実施目的

参加した市民同士での対話を通じて市民目線で今後の市の取組に対する意見やアイデアを頂戴し、今後の市政に活かすことを目的とします。

また、参加した市民が行政の取組を理解するとともに、本ワークショップへの参加を通して、今後自ら行政や地域に関わっていきたいと思うきっかけとなるよう目指します。

2 開催概要

開催日時	令和 3（2021）年 11 月 7 日（日） 午前 9 時 20 分～正午
参加者	無作為抽出により選出した市民 19 名
内容	第 1 部 趣旨説明・市の取組の進捗状況・現状について 第 2 部 ワークショップ

3 当日のスケジュール

時間	プログラム
9:20	開会、市長あいさつ
9:30	第1部『趣旨説明・市の取組の進捗状況・現状について』
9:55	第2部『ワークショップ』
9:55	ラウンド1『災害や犯罪など自分の身の回りで気になっているもの、不安に思っていることなどをグループで話してみましよう。』
10:10	ラウンド2『ラウンド1で話した内容に対して自分がやっていること、準備したいと思っていることなど、個人ができることを考えてみましょう』
10:20	ラウンド2の各グループの発表
11:00	ラウンド3『個人では難しいけど、地域で協力することでできることを考えてみましょう』 ラウンド4『ラウンド3で話した、「いざという時の共助につながる地域コミュニティ」を作るために必要なものを考えてみましょう。』
11:20	ラウンド3、4の各グループの発表
11:50	ファシリテーターから総括
12:00	閉会
12:05	事務連絡

4 ワークショップの流れ

まず、第1部で市より「地域防災・防犯活動を通じた結びつきの強化」に関する取組について説明し、その後、防災・防犯に関するワークショップを実施しました。

ワークショップは東京大学より招いたファシリテーターに進行をお願いしました。ラウンド1から3までのグループディスカッションを通じ、防災・防犯に関し個人で取り組めることや地域で取り組むからできることを考えてもらい、ラウンド4では「いざという時の共助につながる地域コミュニティ」を作るには何が必要かを考えてもらいました。ラウンド2とラウンド4のディスカッション終了した際、発表により各グループで出た意見を共有し、振り返るとともに全てのラウンドが終了した際には、ファシリテーターより全体を通して総括をいただきました。

第1部『趣旨説明・市の取組の進捗状況・現状について』

総合計画と行政評価についてや、「地域防災・防犯活動を通じた結びつきの強化」に関する取組について説明しました。



1 総合計画と行政評価について

(1) 総合計画とは

- ・市民と行政の共通の目標として、まちづくりを進める上で根幹となる計画であり、様々な計画の中で最上位に位置づけられる計画です。
- ・令和元年6月に、**第五次多摩市総合計画 第3期基本計画**がスタートしました。



3 地域防災・防犯活動を通じた結びつきの強化について

例えば・・・

オレオレ詐欺など特殊詐欺対策として、自動通話録音機を無料で貸出し！

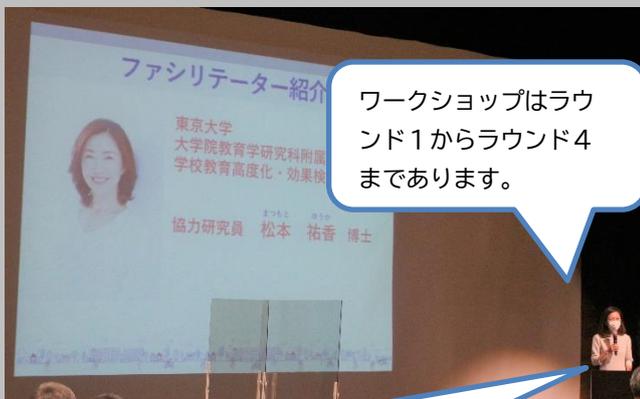


防災無線やパトロール車両を使用し、それぞれの地域に合った啓発を実施！



第2部『ワークショップ』

ファシリテーターよりワークシートの使い方やワークショップ全体の進め方について説明を行いました。



ワークショップはラウンド1からラウンド4まであります。

思いついたものを付せんを書いて貼っていきましょう！

防災・防犯について考えてみよう！

	グループ名
<p>① 例) 近所や職場などの近所や職場の防犯で気をつけている点や、不安に思っていることをグループで話し合ってみよう！</p>	<p>ラウンド1 自分の身の回りで気になっているものについて</p>
<p>② 例) 近所や職場にペットがいること、ペットの同行が可能な場所を確認する。</p>	<p>ラウンド2 個人ができることについて</p>
<p>③ 例) 同じ地域のペットを飼っている人と情報を共有する。</p>	<p>ラウンド3 地域でできることについて</p>
<p>④ 例) 近所や職場の防犯について話し合ってみよう！</p>	<p>ラウンド4 「いざという時の共助につながる地域コミュニティ」を作るために必要なものについて</p>

ワークショップの概要を説明した後、参加者はそれぞれのグループに分かれて、各ラウンドで指定されたテーマについて、参加者同士で対話しながら、ワークシートの作成を行いました。



時間が足りないな

こういったワークショップをもっと身近な単位で行うのはどうだろう

■対話中■

3人～4人のグループにて対話中。防災・防犯といったテーマに世代を超えて議論が盛り上がりました。



各グループのワークシート

地域コミュニティ活性化のため、お祭りを毎年やってます！

■発表中■

ラウンド2、4の終了時には各グループ発表を行いました！発表中は各グループのワークシートをスクリーンに投影しました。

各グループの発表で出た主な意見と回答

■災害時の備蓄について

発表で出た主な意見

備蓄は個人で取り組めるが、何日分すればよいか分からない。

講師コメント

備蓄は5日～7日分が良いと思う。
水などの備蓄も大切です。保存用のものではなく普通の水を多めに買って、使っては補充を繰り返すことが良い。

市の回答

市民の3万3千～4万人が避難する想定で避難所の2～3日分を備蓄している。桜ヶ丘、落合、愛宕、南野、聖ヶ丘の浄水所や並木公園では、一日当たり2～3ℓ配れるが、まずはストックしている水から使っていただきたい。

■避難所について

発表で出た主な意見

自宅で避難の場合、情報は届くか、どこまでが自宅で避難か。いざという時のために、まず災害弱者に関心を持つことが大切。

講師コメント

豪雨の場合など自宅で垂直避難の方が良い場合もある。地域や個々の状況に合わせて臨機応変に対応する必要があります。

ファシリテーターによる総括

全てのラウンドが終了し、全てのグループが発表した後、ファシリテーターより、ワークショップ全体を通した総括をしてもらいました。

■防犯について

発表で出た主な意見

不審者への対策として防犯ブザーなどのグッズを持ち歩く、駅に情報を掲示して啓発するのも良いと思った。

講師コメント

地域の目を大切にしていき、地域が緩やかにつながっていることが大切だと思います。
防犯に関する限り情報を地域で行きわたらせることが重要で、全員が共有していれば安全性が上がります。

■コミュニティの強化について

発表で出た主な意見

人と人のつながりが大切なので、近隣に興味を持ち、関係性を普段から作っておくことが重要。活動に対する支援やリーダーが必要。全体の意識を高めるため、今日のような会を身近で設けることが必要。若者を参加させることを考えていく必要がある。

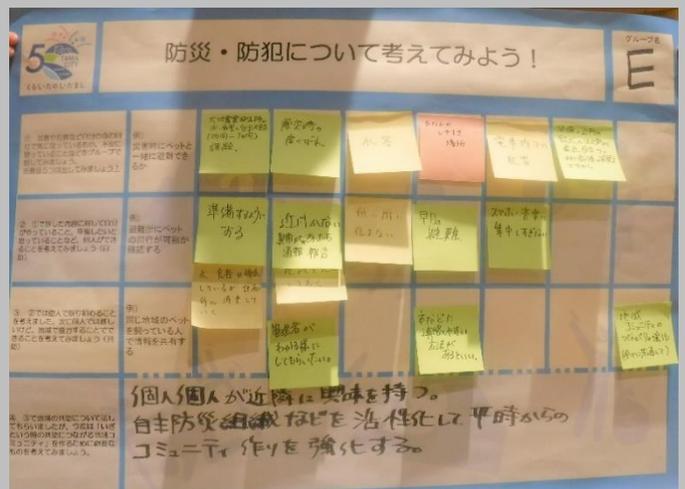
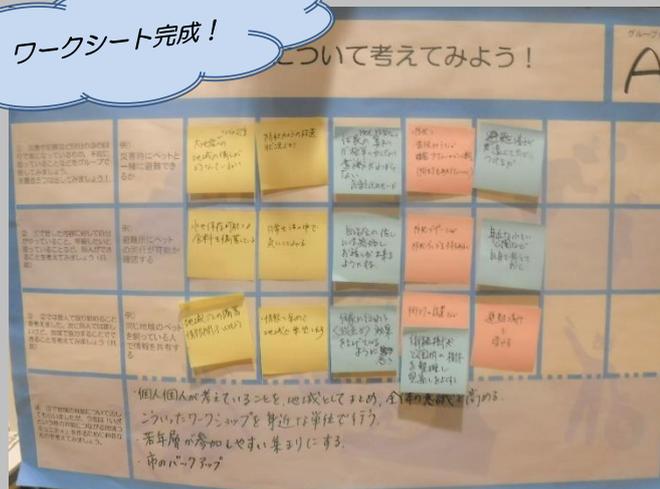
講師コメント

地域の催しに参加し、顔を合わせておく。地域の顔を知っているだけで安心感につながるので平時の付き合いは大切です。
地域での活動は継続することが難しいため、ウォーキングなどを通して避難できる場所を発見するなど、楽しめる要素があると良いと思います。リーダーがいることはとても大切です。



一人ひとり意識が高く非常に良かったです。地域のことを見つめなおす良い機会となったかと思います。行政の努力だけでは想定外の災害に対し対応できないこともあります。行政任せにせず、一人ひとりが自分の命をどう守るか主体的に考えてもらいたいです。
しかし、どうしても個人ではやりきれないところもあるかと思います。そういったときに地域と緩やかにつながっていることが重要です。すでに参加してる方もいらっしやと思いますが、これから地域に一歩ずつ参加していってほしいと思います。

ワークシート完成!



市の取組について評価してみてください。（5段階評価）

5 達成	0%	0 件
4 	16%	3 件
3	58%	11 件
2	21%	4 件
1 遅れている	0%	0 件
未回答	5%	1 件

市の取組に関するご意見・ご感想、改善すべき点等について

ご感想

- 良くされているとは思いますが、「5」はどのような状態なのかイメージしづらい。平均的に比べると、少し足りないかな、と思います。
- コロナの影響もあり、色々と計画通りに進まない部分をどうリカバリーしていくかに期待したい。また、市としての考え方と各地域の実情や意識に偏りがいないかをチェックできるような仕組みがあればいいのでは？と思う。特に名ばかりの自主防災組織が多そうな気がする。
- 具体的参加の方法が分からない。働きかけもしない。
- 犯罪件数の低下（3,000以上→568件）一方、自主防の組織数が漸増傾向
- 市の計画を多くの市民に知ってもらえたらより良い。市から市民・地域への正しい情報連絡への対策が気になる。

ご意見・改善すべき点

- オレオレ詐欺があったとき、防災無線で注意喚起があるが、それがどれほど効果があるのか知りたい。被害に合いそうな方は「注意しよう」と思うかもしれないが、詐欺を行うヤツらに「詐欺をしたくなくなるような」声を防災無線で流して欲しいです。
- 防犯において、メールなどを使っているため、若者にも浸透しやすく良いと思った。しかし、防災においては、興味のない人、特に若者には伝わりづらく、私も全く知識がないので、もっとSNSなどの呼びかけが必要だと思った。若い世代はSNSをよく見るので効果的かと。
- 防犯情報メールはうまく機能するのでしょうか？
- 活動内容が具体的には良く分からなかったため、評価が難しい。もう少し具体的な活動が分かるように教えていただきたい。
- 具体的な数値で説明がないので、理解し難い。コミュニケーションが不足していると感じる。結果、参加意識が生まれにくい。市主催の市民交流イベントをもっと増やしてほしい。
- 安全安心ネットワークや防犯情報メールをもっと周知した方が良いと思います。いいものだと思うので、知らない人が多いのはもったいない！
- 防災・防犯自主活動は知らない。実感がない。広報努力を！

ご意見	市の考え方
<p>オレオレ詐欺があったとき、防災無線で注意喚起があるが、それがどれほど効果があるのか知りたい。被害に合いそうな方は「注意しよう」と思うかもしれないが、詐欺を行う人が「詐欺をしたくなくなるような」声を防災無線で流して欲しいです。</p>	<p>多摩市の特殊詐欺被害対策は、防災行政無線及びパトロール車両による注意喚起と自動通話録音機の貸出です。防災行政無線だけの効果は、目に見えて分かるものではありませんが、多摩市の被害件数は10月末時点で11件で、昨年の半分以下となっています。また、この放送は、多摩中央警察署長の要請に基づき放送しています。多摩中央警察署からは、この放送を犯人が聞くと詐欺行為を断念する傾向にあると伺っています。（現在放送中の内容は警察が作成したものです。）</p>
<p>防犯において、メールなどを使っているため、若者にも浸透しやすく良いと思った。しかし、防災においては、興味のない人、特に若者には伝わりづらく、私も全く知識がないので、もっとSNSなどの呼びかけが必要だと思った。若い世代はSNSをよく見るので効果的かと。</p>	<p>防災についても、防犯と同じく登録制のメールを活用して、情報提供を行っております。このメールは、Twitter、LINEの多摩市公式アカウントにも連携しており、送信したメールはSNSでも通知している状況です。いただいたご意見を踏まえ、今後は、防災に関する知識を深めるような発信も検討していきます。</p>
<p>防犯情報メールはうまく機能するといいいのですか？</p>	<p>多摩市は、多摩中央警察署、多摩・稲城防犯協会、地域ボランティア等と連携を図りながら「自分達のまちは、自分達で守ろう」の精神により、「犯罪のない、安全で安心して暮らせる街づくり」に務めております。防犯情報メールは、多摩中央警察署からの一週間の犯罪認知状況と不審者や振り込め詐欺などの発生情報があった時に、「安全安心まちづくり情報」として、防犯メールを配信し、注意喚起を行い、子供たちの見守り等呼びかけています。不審者などに犯罪を起こさせないためにも、より多くの方々に「安全安心まちづくり情報」を知ってもらうことにより、「自分たちのまちは、自分達で守る。」という気運を強く持っていただき、「犯罪のない、安全で安心して暮らせる街づくり」を実現していきたいと考えています。そこで大切になるのが、地域の方々が協力して防犯活動に努めていただき、子供たちの通学の安全を確保するために、不審者の発生しやすい場所や登下校時のパトロールの強化をおこない、不審者を減らすことが、犯罪を未然に防ぐことに繋がるものと考えています。</p>
<p>活動内容が具体的には良く分からなかったため、評価が難しい。もう少し具体的な活動が分かるように教えていただきたい。</p>	<p>次年度の行政評価市民フォーラムにおいては、参加者が理解しやすい資料作りを心掛けてまいります。</p>
<p>具体的な数値で説明がないので、理解し難い。コミュニケーションが不足していると感じる。結果、参加意識が生まれにくい。市主催の市民交流イベントをもっと増やしてほしい。</p>	<p>市民交流イベントについては市役所内部で情報を共有し、検討していきます。</p>
<p>市の計画を多くの市民に知らせてもらえたらより良い。市から市民・地域への正しい情報連絡への対策が気になる。</p>	<p>広報活動は、たま広報や多摩市公式HPのほかに以下の方法で周知を行ってきています。安全安心ネットワークの登録は、団体のみが登録できるものです。毎年3月に自治会、町会、管理組合等に案内通知を送付し、お知らせしております。また、私立学校や幼稚園保育園などの会議等でも登録のお願いを行っております。現在までに96団体となりました。</p>
<p>安全安心ネットワークや防犯情報メールをもっと周知した方が良いと思います。いいものだと思うので、知らない人が多いのもったいない！</p>	<p>防犯情報メールの登録については、各種の会議にて登録のお願いを行っております。また、多摩市が発行する各種小冊子等にも登録について掲載しております。現在までに約12,300人の方の登録があります。</p>
<p>防災・防犯自主活動は知らない。実感が無い。広報努力を！</p>	<p>防災については、Youtubeや多摩テレビを活用した動画・映像の配信、自主防災組織だよりの回覧などを実施しておりますが、市の取り組み内容をより多くの方に知っていただくため、今後も様々な媒体を活用して周知、啓発に努めてまいります。</p>

(3) アンケート結果

○アンケート回答者数 19 名

本日の「行政評価市民フォーラム」に参加して良かったと思いますか。		
よかった	53%	10 件
まあまあよかった	42%	8 件
あまりよくなかった	0%	0 件
よくなかった	0%	0 件
未回答	5%	1 件

あなたが「行政評価市民フォーラム」に参加しようと思った理由について教えてください。（複数回答可）	
内容に興味があったから	7 件
参加依頼が来たから	15 件
市政に参加（貢献）したかったから	3 件
その他（以下参照）	4 件
<ul style="list-style-type: none">多摩市が行っている政策などについて知りたかったため市の取組を知りたかったから町内会で1年交替の防災委員になってたから引っ越してきて多摩市のことが分からなかったので、参加してみようと思った。	

「行政評価市民フォーラム」に参加したことがきっかけで、市の他の市民委員会やワークショップ等に参加してみたいと思いましたか。		
とても思った	21%	4 件
ある程度思った	63%	12 件
どちらともいえない	5%	1 件
あまり思わなかった	5%	1 件
未回答	5%	1 件

「行政評価市民フォーラム」の運営・内容についてのご意見・ご感想、改善すべき点等について	
ご感想	
<ul style="list-style-type: none">時間の制約があり忙しかったですが良かったと思います。講師の人选が良いと思った。みんな悩んでいることは一緒だと思いました。日頃からご近所づきあいは大切ですが、昔より希薄なところもあり、仲良くなれる場がもっと身近にあればベターかと思いました。第1部では全体観の把握と本日のテーマの位置づけが良く理解できました。市の取組内容についてはもう少し具体的な活動内容を知りたいと思いました。ワークショップでは色々な意見が聞けてとても有意義だと感じました。市の取組についてはあまり情報を得られなかった。しかし、色々な点で気づきを与えてくれ、参加して良かったと非常に思う。自分では防災に対して、それなりにやっていると自覚していましたが、まだまだ足りない。色々な他の方の意見を知ることができて良かったと思いました。自分の声が直接行政に届いて嬉しかった。こんな人が住んでいるんだ！と知ることができた。行政によって取り組み方が色々あることに気づきました。以前住んでいたところの取組（子どもを対象にした「わんぱくサバイバル」、地域や行政の中で災害防災ボランティアコーディネーターの育成や運営など）など発信できる場所があると良いなと思いました。ワクチン接種率の高さに驚きました。知ることができて良かったです。市長、副市長の出席があり、事業の重要性を感じました。	

ご意見・改善すべき点

- ワークの時間をもう少し多く取れるとよりよい意見交換ができるのではないかと思います。
- 事前に資料が送られてこなかった。HPで調べたが、予習のため、次回はお願いしたい。話を聞いている時間が長かった。
- 考えることができ良かったです。地域コミュニティがどんな状態で活動しているのか知りたかったです。
- せっかく市の主催で行っているの、少しの時間でも市に対しての質問など、直接聞けるタイミングがあるといいと思った。
- 参加に難しい若い人の視点をどう取り込み実現させるかを重点的に行ってほしい。
- グループで話す時間を増やした方が良い。市の説明は事前にビデオを公開して見てもらい、話し合いの時間を増やす等。
- 防災・防犯の課題はコミュニティの課題に直結している。地域コミュニティ活性化のため、行政は積極的に参画してほしい。

ご意見	市の考え方
ワークの時間をもう少し多く取れるとよりよい意見交換ができるのではないかと思います。	<p>いただいたご意見を踏まえ、次年度の行政評価市民フォーラムでは、全体の開催時間と時間割見直し、話し合いの時間を増やすとともに、市に対し質問する時間も設けたいと考えています。</p> <p>また、事前に資料を確認していただく手法や各地域の活動状況の情報交換の機会などについては検討させていただきます。</p>
グループで話す時間を増やした方が良い。市の説明は事前にビデオを公開して見てもらい、話し合いの時間を増やす等。	
せっかく市の主催で行っているの、少しの時間でも市に対しての質問など、直接聞けるタイミングがあるといいと思った。	
事前に資料が送られてこなかった。HPで調べたが、予習のため、次回はお願いしたい。話を聞いている時間が長かった。	
考えることができ良かったです。地域コミュニティがどんな状態で活動しているのか知りたかったです。	<p>現在、多摩市で実施を計画している（仮称）地域委員会構想において、行政の地域コミュニティ活動への参画を主目的の一つとして掲げているとおり、行政としてもその必要性を認識しております。</p> <p>特に、防災分野においては、コロナ禍による地域活動の停滞を危機として捉えていることから、地域活動を再度活性化するため、（仮称）地域委員会構想以外にも所管課として積極的に地域の防災活動に参画していきます。</p> <p>次に、防犯分野において多摩市は、多摩中央警察署、多摩・稲城防犯協会、地域ボランティア等と連携を取りながら「自分達のまちは、自分達で守ろう」の精神により、「犯罪のない、安全で安心して暮らせる街づくり」に務めるため、各種イベントや防犯パトロールなどの活動により、コミュニティの醸成を図っています。今後も、積極的に地域活動に参画していきます。</p>
防災・防犯の課題はコミュニティの課題に直結している。地域コミュニティ活性化のため、行政は積極的に参画してほしい。	